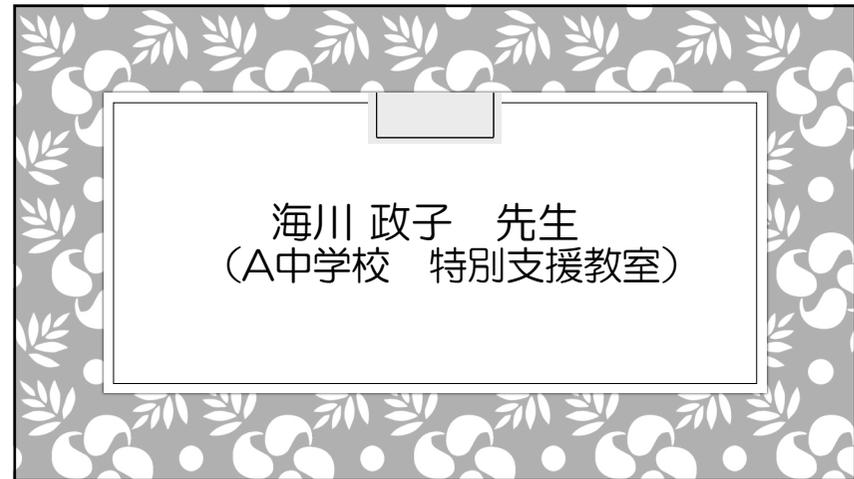


1



2

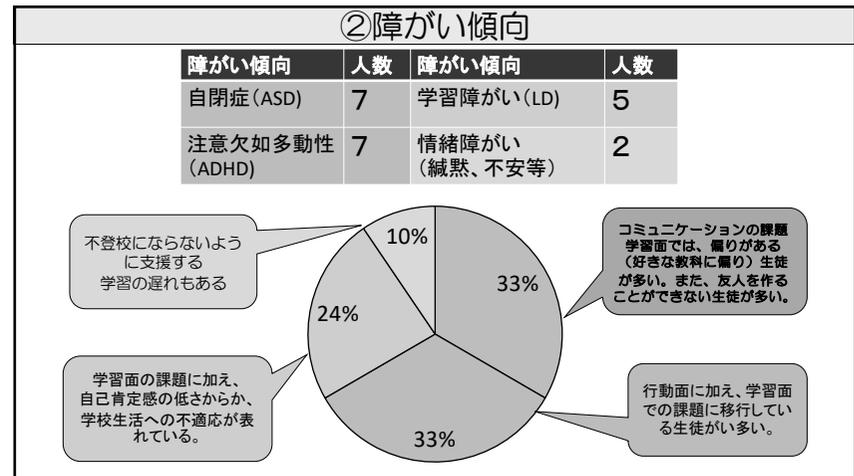
①指導生徒数（R3,7月現在）自校のみ

★自校のみの指導で、巡回による指導は 行っていない。

	1 年	2 年	3 年	合 計
男 子	7	6	6	19
女 子	1	1	0	2
合 計	8	7	6	21

出身小学校は主に近隣の5、6校

3



4

### ③指導形態

- ★個別指導のみ 17名
  - ・週に1時間の指導の生徒
  
- ★個別指導と小集団指導の併用 4名
  - ・週に2時間以上の生徒
  - ・不安や緊張の強い生徒
  
- ★小集団指導のみ 0名

5

### ④入室までの流れ

```

    graph TD
      A[本人の困り感・保護者の気付き・教員の気付き] --> B[校内の相談委員会での検討]
      B --> C[本人・保護者が納得し希望する]
      C --> D[申し込み・区に書類を提出  
(就学相談申込書、資料・実態把握票・校内委員会検討資料)]
      D --> E[就学相談員より連絡 面接・発達検査等の日程調整]
      E --> F[特別支援教室利用支援委員会で審議・判定委員会による判定]
      F --> G[特別支援教室の利用開始]
      H(申込から入室まで、2, 3か月時間がかかる。) --- A
      I(入級基準に合っているかレベル3) --- B
    
```

6

### ⑤教室の環境

- ★教室の広さ
  - ・普通教室の半分×2教室
  - ・2階フロアにあり、職員室のそば
  
- ★Wi-Fi環境
  - ・1教室には完備されており、タブレットの使用が可能
  - ・モニターを使用しての学習は可能
  
- ★教材教具
  - ・情緒障害等通級指導学級からの教材が多くある。

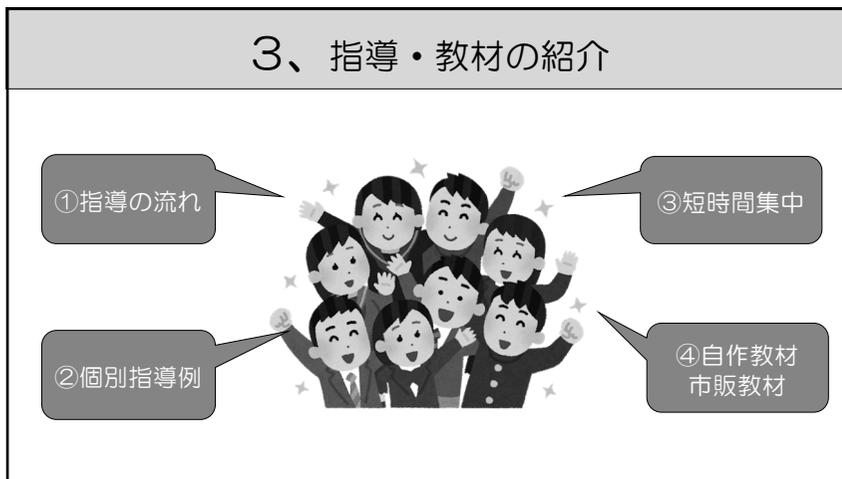
7

### ⑥A中学校での具体的な指導内容

```

    graph TD
      A[認知トレーニング・コグトレ  
見る・聞くトレーニング  
実行機能トレーニング] --> B[自立と社会参加]
      C[ソーシャルスキルトレーニング (SST)  
(社会生活に必要な力をつける)] --> B
      D[自己肯定感を高める] --> B
      E[キャリア教育の視点] --> B
      B --- F(目標)
      G[運動・作業学習  
(微細・粗大運動・制作)] --- B
      H[相談・話す活動  
(言語化する)] --- B
      I[小集団活動  
(ゲーム活動)] --- B
    
```

8



9

①個別指導(1時間)	活動内容	配慮事項
1. 入室	あいさつ 本時の活動の確認 目標の確認	・入室、あいさつの方法をボードで提示しておく ・授業の見通しが立ち、不安の解消 ・生徒が目標を意識し、セルフコントロールする力をつける ・課題に対して責任を持つようになる ・学習カード活用
2. 振り返り	在籍学級での振り返り	・困ったことやトラブルの確認をする
3. ウォーミングアップ	認知トレーニング	・少し頑張ってみようと思える課題でスモールステップで行う ・集中時間の配慮
4. メインの活動	SST 個別の課題 相談 制作 運動	・生徒理解 ・即時評価、フィードバック→意欲が高まる ・集中時間の配慮→気持ちの切り替え、立て直しができる ・作品は、簡単にできて完成品が見栄えの良いものを選ぶ ・相談機能として、話をじっくり聞く→気持ちを言語化させる
5. リクエストの活動	五感を使うゲーム	・楽しんで参加できるように工夫する ・ルール厳守 ・勝ち負けにこだわらない態度を育てる
6. 振り返り	本時の振り返り	・生徒とともに評価、他者からの評価で有用感が高まり、適切な自己評価へ修正・日常生活で活かせることを理解→般化
7. 退室	次回の確認 あいさつ	・忘れないように予定表を作る

10

### ②個別指導例

★学習に困難を抱えているA君 ★集中が短い、不注意が多いB君

ウォーミングアップ	・カウンティング・ストループ ・音読、ソーマキューブ ・鉛筆コントロール	ウォーミングアップ	・カウンティング・ストループ ・音読、ソーマキューブ
メイン	・聞くトレーニング ・漢字ゲーム	メイン	・「説明しよう」 ・覚え方を工夫しよう
リクエスト	・「ノイ」	リクエスト	・「ブロックス」

「達成感」を体験させたい！

11

### ②個別指導例

★コミュニケーションに課題があるC君 ★自己表現が苦手なDさん

ウォーミングアップ	・カウンティング・ストループ ・音読、ソーマキューブ	ウォーミングアップ	・カウンティング・ストループ ・音読、ソーマキューブ
メイン	・「めざせ会話の達人」 ・友達、先生の名前を覚えよう	メイン	・「なんでもQ」トーキングゲーム
リクエスト	・「カタカナージ」	リクエスト	・「UNO」

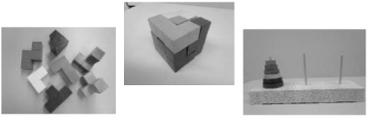
「達成感・人と関わる楽しさ」を体験させたい！

12

**③短時間集中する活動**  
 (生徒理解につながる、目標を立てやすい、継続することで苦手意識を軽減)

《教材》

- ①カウンティングトレーニング
- ②ストループ: 問題用紙(4色)
- ③音読: 中学生らしいもの  
 (教科書にある小説や古典なども)
- ④ソーマキューブ(試行錯誤しながら、操作する)  
 ハノイの塔(ルールを守って操作する)



《めあて》  
 短時間でできる単純なワーク→集中する体験を積み  
 目からの情報→考える(頭)→アウトプットは言葉で  
 同時に指を使うことで脳を活性化させる。  
 目からの情報→考える(頭)  
 →アウトプット(表現)は手を使って操作  
 試行錯誤する経験

正確に見ること  
 ルールの理解(ハノイの塔)  
 時間を計ることで、目標を立てやすい  
 語彙を増やす  
 ストループは、衝動性をおさえるトレーニングになる。  
 (一度考える) など

ルーティン化する→難易度をあげる。

13

**④自作カードを使った活動(個別・小集団)**

**言葉カード**  
 ・説明する ・共通点を探す ・文を作る  
 ・語彙を増やす ・聞いて考える

**質問しようカード**  
 ・話す・聞く・質問する ・会話の基礎

**図形・漢字カード**  
 ・説明する ・聞いて書く

**オノマトペカード**  
 ・状態を表す言葉の獲得 ・説明する

**なんでもQカード**  
 ・話す・聞く・質問する・共感する

**気持ちの言葉カード**  
 ・気持ちを言語化 ・説明する

14

大切にしていること...

小集団での活動を意図的にとる。  
 (人との関わりを経験させる)

生徒の課題の克服より、長所を伸ばす指導。  
 (成功体験を多く積ませる・自己肯定感を高める)

中学卒業以降で、自立していくために必要な力をつけさせる。  
 (社会の中で生きていく)

15

都志 史也 先生  
 (B中学校 特別支援教室)

16



17



18

### 指導について

#### 個別指導

各認知特性などの各生徒の課題に応じた自立活動  
 例：相談、目と手の協応運動、微細運動、書字指導  
 アンガーマネジメント  
 聞き方や話し方などのソーシャルスキルやコミュニケーションスキル

#### 小集団指導

学んだソーシャルスキル・コミュニケーションスキルを実践する活動  
 ※特別支援教室専門員や他の巡回指導教員が入る場合もあり

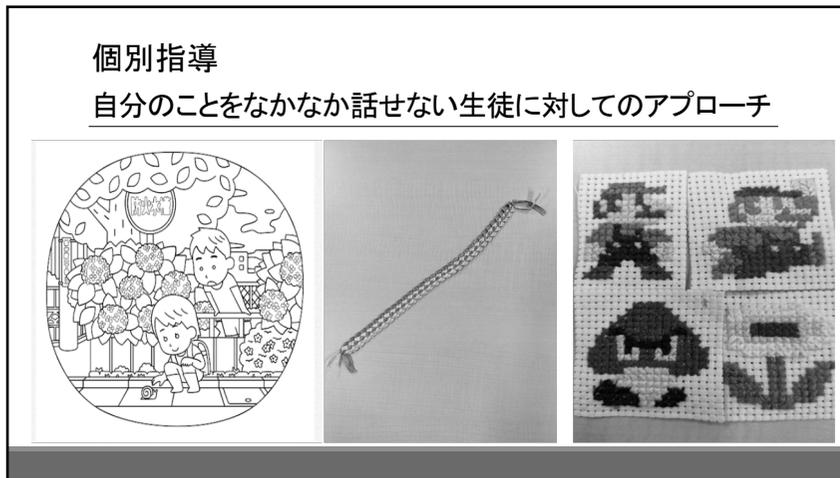
19

### 具体的な指導について

#### 個別指導 書字に対するアプローチ

漢字を見つけよう③  
 ～外来種について～  
 外来種とは「もともとその地紀にいなかったのに、  
 人間の活動によって意図的・非意図的に持ち込まれた  
 生き物のこと」を言います。外来生物の多くが  
 在来の自然環境や野生生物に  
 真刻な悪影響を及ぼしています。

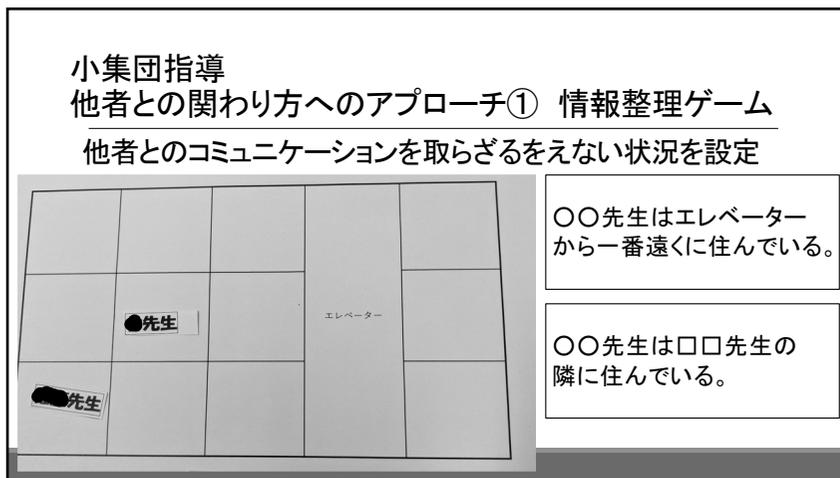
20



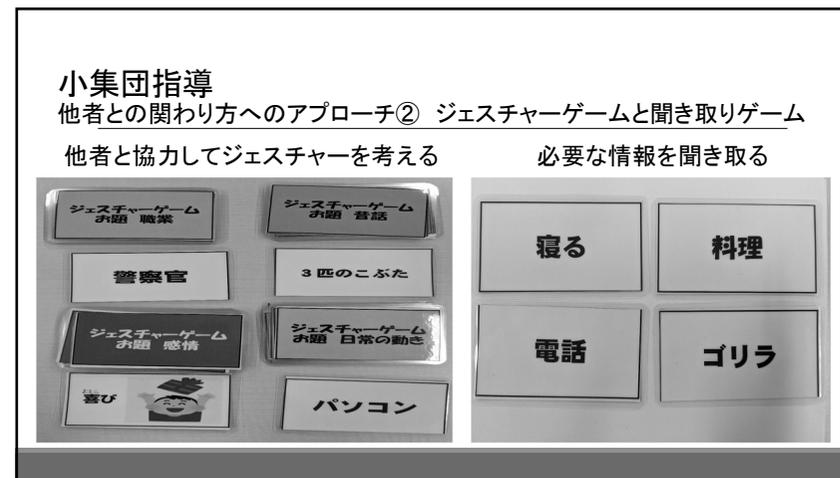
21



22



23



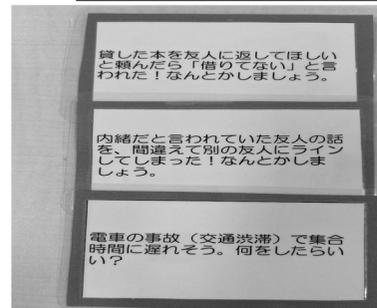
24

### 活動の際に使用する補助教具



25

### 指導実践と生徒の変容 こんなときどうする？



<ポイント>

「なんとかしましょう」が大切  
→どうしますか？では×

<生徒の変容>

自ら解決策を考えようとする。

他者（教員や生徒）の意見を聞くことで自分では考えつかない方法に気付くことができた。

26

### 指導実践と生徒の変容

授業中に絵を描いている



「授業中に絵を描いてはいけません！」  
という指導をする前にすることは？

<ポイント>

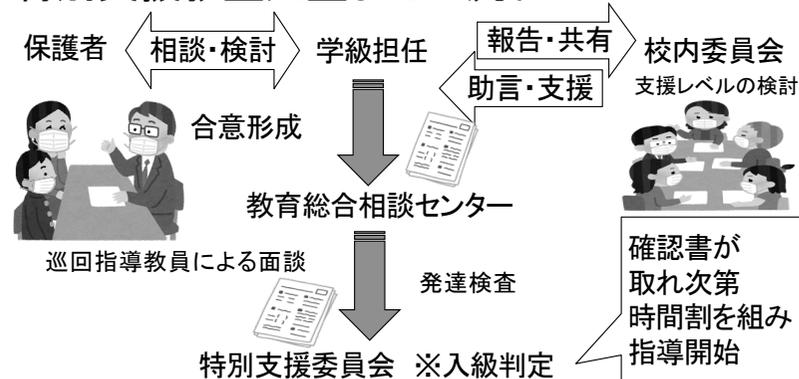
何故、このような状況が起きているのか？  
絵を描くことで回避していることは？  
書くこと以外はどうだろうか？  
本当の困り感に気付くことが大切。

<生徒の変容>

本人の困り感が分かり、以前よりも前向きに取り組めるようになった。

27

### 特別支援教室入室までの流れ



28

### 巡回拠点内の連携の取り方について

#### 複数で行動

→OJTや何かあった時に対応できるようにするため

#### その場で判断をしない

→拠点に持ち帰って内容を協議

#### 後打ち合わせ

→指導内容や生徒の変容等を報告  
指導についての助言

29

### 課題について

①巡回指導の浸透

②教育課程の文言について

③指導に対する達成感

30

### 私が考える巡回指導とは・・・



31

高松 慶多 先生  
(C中学校 特別支援教室)

32



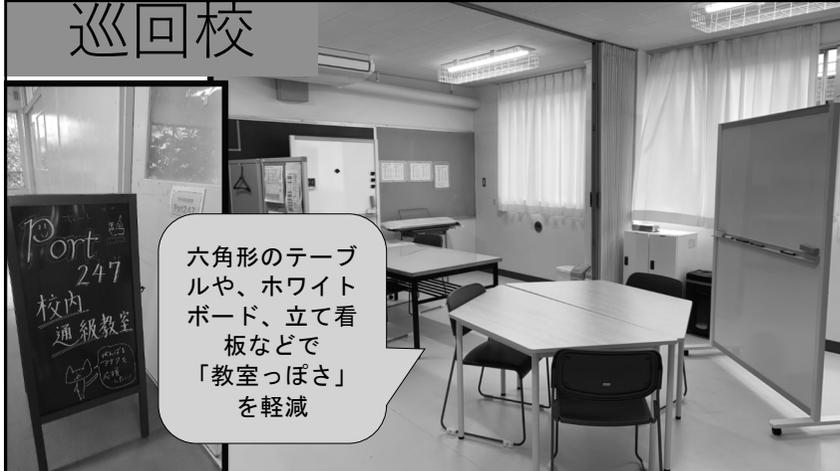
**Port 247** (ぽーと に よん なな)

愛称をつけることで親しみをもってもらいたいという願いを込めています  
 生徒みんなの心のポート（港）でありたいと願っています  
 港のように強い波風から船を守る場所として  
 時には帆を休める寄港地として  
 そして安心して出航できる始まりの港として  
 生徒の皆さんを応援していきます



33

巡回校



六角形のテーブルや、ホワイトボード、立て看板などで「教室っぽさ」を軽減

34

拠点校

かつて「相談学級」として、適応指導教室の役割を担っていたので、充実した施設や設備



35

通級の時間割

毎日 3・4時間目は 小集団指導

	月 二・七	火 四・七	水 二	木 二・四	金 二・七
1	移動	移動	移動	移動	移動
2	個別	個別	個別	個別	個別
3	<b>小集団</b>	<b>小集団</b>	<b>小集団</b>	<b>小集団</b>	<b>小集団</b>
4	<b>小集団</b>	<b>小集団</b>	<b>小集団</b>	<b>小集団</b>	<b>小集団</b>
5	個別	相談時間 教員研修	個別	個別	個別
6	個別	相談時間 教員研修	職員会議 教員研修	個別	個別

36

### 通級の時間割

	月 二・七	火 四・九	水 二	木 二・四	金 二
1	移動	移動	移動	移動	移動
2	個別	個別	個別	個別	個別
3	小集団	小集団	小集団	小集団	小集団
4	小集団	小集団	小集団	小集団	小集団
5	個別	相談時間 教員研修	個別	個別	個別
6	個別	相談時間 教員研修	職員会議 教員研修	個別	個別

小集団のメンバーが固定化され、人間関係が深まる

小集団指導が深まる  
本物のSSTが日常に生まれる

友達    自信    模範

通級する目的が生まれる

37

### 通級の通い方

休み時間ごと抜けてくる、昼休みの指導

放課後に翌週の確認だけ行う  
(放課後の指導はしない)

不登校生徒の在籍との架け橋

週1時間しかない授業では抜かない

通級の仕方は人それぞれ  
自分に合った通級の仕方を  
担任の先生、教科担任、保護者、本人と一緒に考えます

38

### 入級のシステム

**流れ**

拠点校での相談（担任→校内支援委員会）

↓

通級と保護者・本人と面談

↓

体験通級にて実態把握

↓

市教育委員会による通級支援委員会（月1回）

↓

入級/入級面談

↓

指導開始

**提出書類**

- 1 相談申し込み
- 2 入級願い
- 3 在籍校所見
- 4 学習のチェックリスト
- 5 行動のチェックリスト
- 6 設置校所見
- 7 発達検査の結果

39

### 個別学習、自立活動

悩み相談  
自己肯定感

個別  
面談

在籍学級の宿題や課題

在籍の行事に向けて

SST  
LST

コミュニケーション  
学習

在籍復帰

在籍適応

卒業生の話聴く会  
卒業生の保護者の話を聴く会

進路学習

ゲーム

運動

協力

目標づくり  
自己理解

長期的  
短期的  
な計画

40

### それぞれの課題に応じた指導

クラスでは気軽に話せる友達がいらない

人の話を聞くことが苦手

忘れ物がなくならない

ルールやマナーがよくわからない

急な予定変更に対応することが苦手

落ち着いていられない

見通しをもった言動が取れない

個別の指導計画 & そのときの実態に応じた内容で授業  
(年間計画ありきではない)

41

### 自己理解を深める授業の充実

自分の特性を理解する

苦手なこと

人と違う所

趣味特技

中学校3年間

↓

人との関わり方

困難に直面したとき

ストレス耐性

自分の良さ

社会でどうやって適応(活躍)していくか

42

### 進路学習

卒業生のお話を聴く会

卒業生の保護者のお話を聴く会

通信制高校、サポート校、高等専修学校の先生を招いての説明会

オンラインでも配信  
保護者だけでなく、担任、巡回先の先生などとも  
情報を共有できる

43

### マイプロ

#### 探究活動-マイプロジェクト-

生徒が自分の「好き」「得意」を生かして、自ら学んだり実践したりする楽しさを知る

企画、挑戦、探究、計画、プレゼンテーションを通して、社会で生きる実践力を伸ばす

他の生徒の発表に触れ、自分との違いを認め合い、高め合う



44

## マイプロ 探究活動－マイプロジェクト－

発表内容

高校調べ ～未来への道～
iMovieで映画作成！の予告編
FGOが発展していくために～お前たちを招らせる～
ミニ四駆作ったよ(仮)
漫画「不安の種」の魅力
スクラッチで自作の格闘ゲーム ～ゲーム実況風にお送りします～
マリオクイズ 一般正解率0の超難問

45

## タブレットを日常的に活用①



- ・各学校ごとのクラスルームを作成
- ・プリントや課題の配布、提出
- ・持ち物や面談のお知らせ、学級だよりなどの配信
- ・通級担任の許可を得て、通級生徒からグループへの配信OK  
例：クイズ、ラジオ、イラスト

46

## タブレットを日常的に活用②

活用指導例: 小集団 “Try New Things”  
授業の冒頭で、この1週間ではじめた新しいこと、気づいたこと、楽しかったことの発表



➔

生徒はそれぞれ生活の中でメモ残す



➔

画面共有しながら、発表する

47

## タブレットを日常的に活用③



➔

しゃべって筆談  
音声で入力し、コピーして貼り付けることができる  
メモ、作文、メール等の長い文章の短縮に



➔

メモ  
写真で撮るだけで、書類がデータ化される



➔

翻訳  
英文をカメラで写すだけで翻訳してくれる

48

### 課題

**在籍校との連携**  
学校によってルールが違う  
 →タブレットの取り扱い  
 →合理的配慮の範囲

**適応指導教室との連携**

書類が在籍校と設置校とに分散、タブレットとPC同期が×

教員の指導力の向上・在籍担任との連携力

49

西島 明佳 先生  
 (D中学校 特別支援教室)

50

### 入退室

特別な教育的支援が必要な生徒への気付き

↓

実態把握及び保護者との情報共有

↓

校内委員会における検討① 支援レベル1・2

↓

校内委員会における検討② 支援レベル3

↓

特別支援教室の入室申請

↓

入退室検討委員会

↓

入退室検討委員会の判定結果

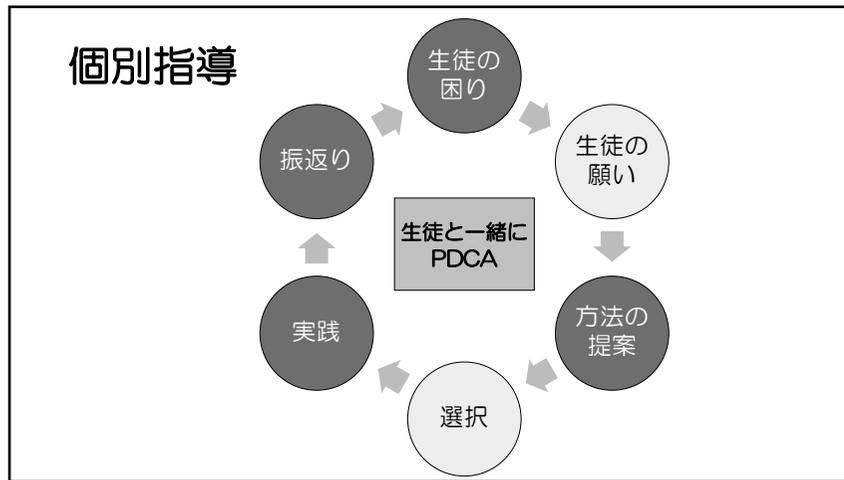
【必要書類】

- ・特別支援教室入室申込書
- ・入室申請書  
(在籍校所見)
- ・行動チェックリスト  
(在籍学級担任)
- ・行動チェックリスト  
(巡回指導教員)
- ・発達検査結果
- ・学校生活支援シート
- ・個別指導計画

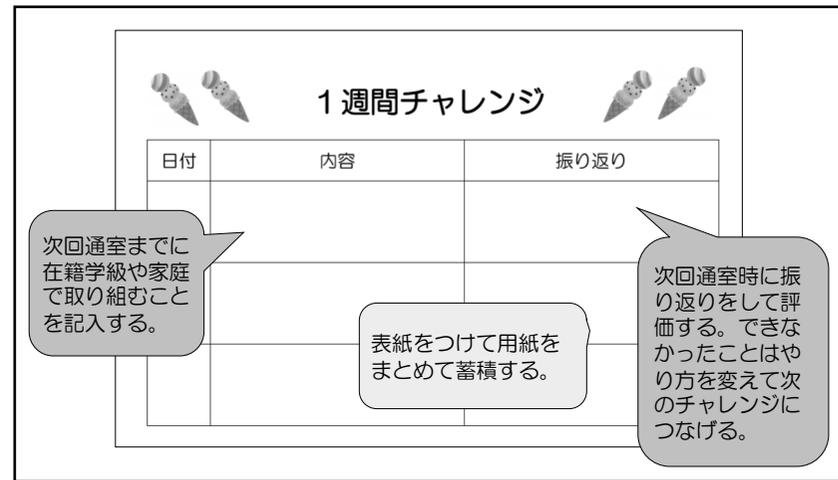
51

支援レベル1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内委員会で対象児童・生徒についてケース報告を行い、現状把握を行う。</li> <li>・現状把握を基にして、管理職や特別支援教育コーディネーター、巡回指導教員又は巡回相談心理士が授業観察を行い、在籍学級担任に助言を行う。</li> <li>・具体的な対応例 個別の声掛けの工夫、座席位置の工夫 情報伝達の工夫、時間の構造化 ルールの明確化、刺激量の調整</li> </ul>
支援レベル2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状把握を基にして、巡回指導教員又は巡回相談心理士等が授業観察を行い、在籍学級担任に助言を行う。</li> <li>・具体的な対応例 学習支援員等による補助 授業を取り出での指導 スクールカウンセラーとの面談</li> </ul>

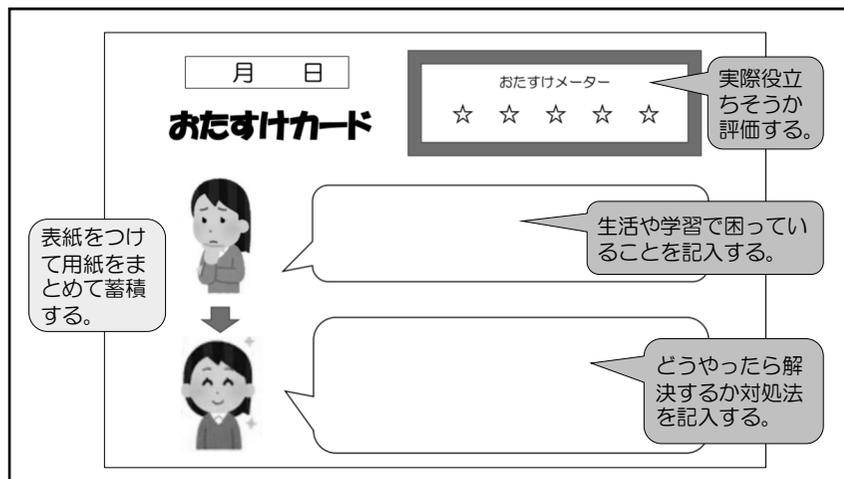
52



53



54



55

ニーズ	教材例
読み	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書国語ルビ振り、英語読み上げ</li> <li>熟語パズル</li> <li>リーディングトラッカー</li> </ul>
書き	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書小学校国語漢字</li> <li>物語づくり</li> <li>英単語練習カード</li> <li>やすり下敷き</li> <li>筆ペン</li> </ul>
注意集中	<ul style="list-style-type: none"> <li>イヤーマフ</li> <li>フィジエットキューブ</li> <li>バランスボール</li> <li>足台</li> </ul>
スモールステップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>おたすけカード</li> <li>1週間チャレンジ</li> <li>目標達成シート</li> </ul>
スケジュール管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>カレンダー作り</li> <li>ルーティン改革</li> </ul>
持ち物管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>持ち物リスト</li> </ul>
感情コントロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちの温度計</li> <li>気持ちの円グラフ</li> </ul>
目と手の協応運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>蝶結び</li> <li>運筆迷路</li> </ul>
宿泊行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>服薬管理</li> <li>荷物チェック表</li> </ul>

56

### 小集団指導

①授業の流れと目標の提示	それぞれの活動に対応する目標を提示
②個人目標の設定	目標の中から特に頑張りたいものを選ばせる
③ウォーミングアップ (5分)	在籍校の行事や授業、特別支援教室の授業内容と関連させたものを実施する (例) 運動会⇒ラジオ体操 水泳⇒バランスボール 記憶クイズ⇒ビジョントレーニング 姿勢の整え方⇒肩甲骨ストレッチ
④メインの活動	意図的にコミュニケーション場面を設定する (例) 順番を決める相談と結果の報告 プリントを手渡すときに一言添える
⑤まとめと振り返り	目標達成に応じてシールを貼って評価する

57

### 身だしなみ

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>•他の人から自分がどのように見られているかを知ろう。</li> <li>•身だしなみを整える意識をもとう。</li> </ul>
1-(1)	
活 動	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 目標の提示</li> <li>② 身だしなみが整っている人とそうでない人のイラストを比較</li> <li>③ 身だしなみ 自己チェック</li> <li>④ 身だしなみ 相互チェック</li> <li>⑤ 振り返り</li> </ol>

58

### こんなときどうする？

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>•学習や生活で困っていることへの対処法を考えよう。</li> <li>•仲間の意見を参考にして対処法を増やそう。</li> </ul>
2-(3)	
活 動	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 目標の提示</li> <li>② 「こんなときどうする？」困りごとへの対処法をワークシートに個人で記入</li> <li>③ 困りごとを書いたカードを順番に引いて対処法を発表</li> <li>④ メンバーの対処法を評価</li> <li>⑤ 振り返り</li> </ol>

59

### 課題

- 時間の捻出
- 報連相
- 優先順位
- 役割分担
- 原則「1年間の指導」
- 小→中→高の引継ぎや連携 など

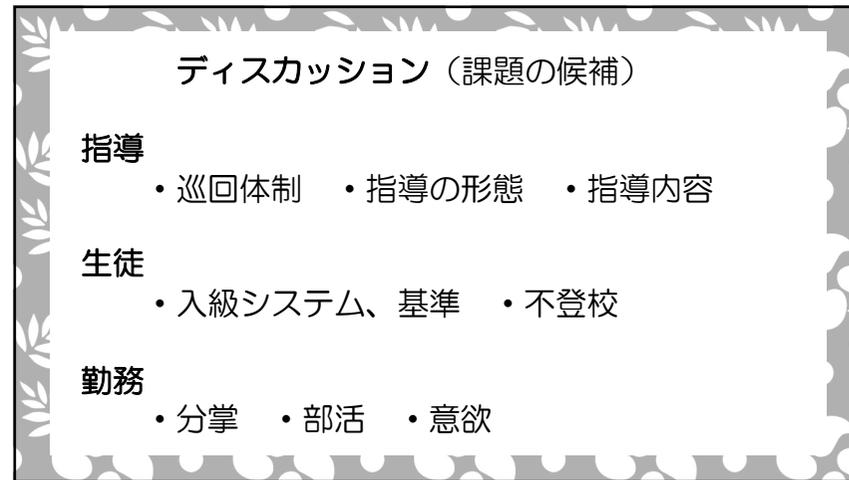


報告  
連絡  
相談

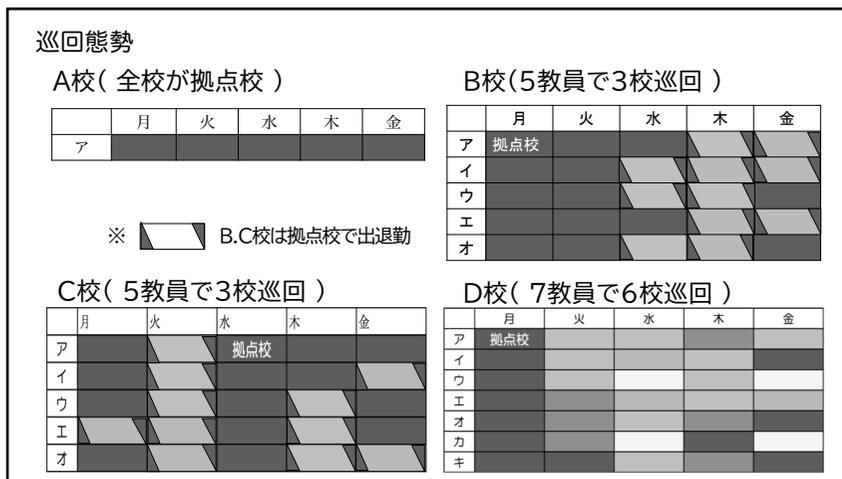
60



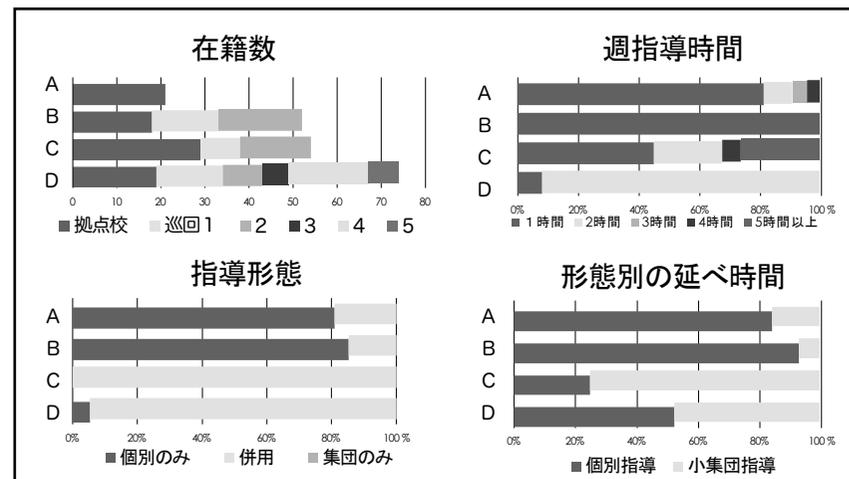
61



62



63



64



65

教育委員会全体として  
**PDCAが機能することが必要。**

新しい仕事なのでそんなに甘くはない。  
仕組みができたからOKではなく。

現場で、毎年の実践の振り返りをきちんと取り組み、  
積極的に報告していく  
(教室→学校→設置校長会→教育委員会)

66

いま、困難のある生徒や、学校が求めるもの  
**ニーズをどうとらえるか**  
ということから考える必要がある

- ICD11が日本の行政において適用されるとき、教育界はどう対応するのか？
- 「通級による指導」の対象とされる4つの障害種別  
( 二 自閉症者 三 情緒障害者  
六 学習障害者 七 注意欠陥多動性障害者)  
それぞれの定義は グレイゾーンやあいまいさ がある。

「情緒障害」「発達障害」  
どちらも危うい言葉

67

**小集団、個別指導。それぞれの必要**

○ボトムアップ  
社会性の課題は苦手とはいえ、ゼロではない。現実生活とのギャップで失敗したり、ゆがんだりしてしまう。特徴を持ちつつ、ややゆっくり伸びてきている。  
それを確実に、伸ばしていくために特別な設定が必要。  
→小集団活動

○トップダウン  
現実の生活において、なんとか折り合いをつけていく。自分の特性をおさえつつ、日々の生活に「適応」していく。  
→個別指導 現実の生活での課題を解決していく  
周囲が変わっていくことも必要(指導者側の取り組みへ)

68